山田町文化財報告書第２集

# 山田町遺跡詳細分布調査報告書

1995.3

宮崎県山田町教育委員会

# 序　　文

山田町では、平成５年度と６年度の２ケ年間にわたって、文化庁と宮崎県教育委員会の御指導・御支援を受け、町内全域にわたる遺跡詳細分布調査を実施してまいりました。

今回の調査は、地下に埋蔵されている文化財が開発等によって崩壊・消滅することを、未然に防止するための資料とすることを目的としたものであります。

調査は、町全域を東部・南部（中霧島地区・南山田地区）と西部・北部（北山田地区・木之川内地区）に分け、１年次に前者、２年次に後者が実施されました。

本町では、旧石器時代・縄文時代・弥生時代の土器や石器をはじめ、貴重な埋蔵文化財が発掘・採集されている地域であり、町内にはまだ多くの埋蔵文化財があることが考えられます。今回の調査によって、多量の土器や石器等の遺物が採集され、新たな遺跡の発見があったことは、文化財保護の観点から大きな意義があると思います。

今後、町内において開発事業が計画される場合には、本書を参考にしていただき、町教育委員会と十分な協議をして埋蔵文化財の保護に御協力をお願いしたいと存じます。

本調査にあたり、格別の御指導・御援助をいただきました文化庁・宮崎県教育委員会ならびに町民の皆様方に対し、心よりお礼を申し上げますとともに、今後とも本町の文化財保護行政に対する御指導・御協力をお願い申し上げます。

山田町教育委員会　教育長　　福　森　實　治

# 例　　言

1．　本書は、山田町教育委員会が平成５年度から平成６年度にかけて文化庁・宮崎県教育委員会の援助を受けて実施した遺跡詳細分布調査の報告書です。

2．　本調査は、埋蔵文化財に関する調査であり、内容は本町全域を対象とする埋蔵文化財包蔵地調査カード及び遺跡分布図の作成であります。

3．　本書の構成は、埋蔵文化財包蔵地地名表・試掘調査概要報告・附図の遺跡分布図から成っています。

4．　本書に掲載された埋蔵文化財は、すべて文化財保護法にいう「**周知の文化財包蔵地**」です。

5．　「**周知の文化財包蔵地**」において、土木工事等を実施しようとする場合には、文化財保護法により「**発掘（工事）に着手する日の６０日前までに文化庁長官に届け出る**」必要がありますので、土木工事等の計画段階から**山田町教育委員会**（山田町大字山田3,881番地 TEL0986-64-1121）ないし**宮崎県教育委員会文化課**（宮崎市橘通東1丁目9番10号 TEL0985-24-1111）へ事前に照会し協議されたい。

6．　埋蔵文化財は、地下に埋もれている性格上、現在、未発見で工事中発見される場合があります。その場合は、文化財保護法の規定により「**その現状を変更することなく、遅滞なく文化庁長官へ届け出る**」必要があります。そのため、工事等を計画する場合は、なるべく事前に**山田町教育委員会**ないし**宮崎県教育委員会文化課**に照会されたい。

7．　本書及び埋蔵文化財に関するお問い合せは、**山田町教育委員会**ないし**宮崎県教育委員会文化課**へお願いいたします。

# 凡　　例

1．　埋蔵文化財包蔵地（以下「遺跡」）の範囲については、地図上に赤色で示した。

2．　地図の「遺跡番号」は、すべて地名表のそれと一致する。

3．「遺跡番号」は、集落跡・散布地・城跡を一番号とした。

4．　各遺跡を大字により２地区に分け、Ｎ－０１番台は中霧島地区、Ｙ－０１番台は南山田地区とした。

5．　遺跡名は、原則として小字名にしたが、一部のものについては通称・俗称によった。

6．　遺跡の所在地は、大字名・小字名で示した。地番については、山田町教育委員会及び宮崎県教育委員会へ問い合わせられたい。

7．調査の組織

調査主体　山田町教育委員会

平成５年度・平成６年度

| | | |
|---|---|---|
| | 福森實治 | 教育長 |
| | 蔵満　勇 | 社会教育課長 |
| | 中山一城 | 社会教育係長 |
| 調査担当 | 寺師雄二 | 社会教育課主査 |
| 庶務担当 | 寺師雄二 | 社会教育課主査 |
| 調査指導 | 面高哲郎 | 県文化課係長 |

調査補助員

| | | | |
|---|---|---|---|
| 平成５年度 | 児玉ミエ | 平成６年度 | 児玉ミエ |
| | 鈴木マツノ | | 鈴木マツノ |
| | 千代森リヲ | | 千代森リヲ |
| | 野間文子 | | 野間文子 |
| | 森山ヨミ子 | | 森山ヨミ子 |
| | 吉田フミエ | | 吉田フミエ |
| | | | 川畑サチ子 |
| | | | 中間トク |

# 目　　次

Ⅰ．埋蔵文化財包蔵地地名表 ---------- 1
中霧島地区 ---------- 1
山　田地区 ---------- 3

Ⅱ．試掘調査概要報告 ---------- 6
薩摩迫遺跡 ---------- 6
長尾下第１遺跡 ---------- 9

Ⅲ．埋蔵文化財発掘調査関係報告書一覧 ---------- 12

袋綴じ　　山田町遺跡分布図　〔1:25,000〕

# Ⅰ．埋蔵文化財包蔵地地名表

中霧島地区　　Ｎ－０１～

山　田地区　　Ｙ－０１～

１．番号は地図の番号と一致している。

２．旧番号は昭和５１年度発行の「全国遺跡地図－宮崎県－」の遺跡番号である。

# 埋蔵文化財

中霧島地区（NO1 ～ ）

| 遺跡番号 | 遺跡名称 | 所在地 | 時代 | 種別 | 旧番号(地図) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| N01 | 四方境遺跡 | 大字中霧島字四方境 | 縄文 | 散布地 | | |
| N02 | 栗木田遺跡 | 大字中霧島字栗木田 | 弥生 | 散布地 | | |
| N03 | 東原遺跡 | 大字中霧島字東原 | 弥生 | 散布地 | | |
| N04 | 大堀第1遺跡 | 大字中霧島字大堀 | 弥生 | 散布地 | | |
| N05 | 大堀第2遺跡 | 大字中霧島字大堀 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| N06 | 前堀第1遺跡 | 大字中霧島字前堀 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| N07 | 前堀第2遺跡 | 大字中霧島字前堀 | 弥生 | 散布地 | | |
| N08 | 宮前遺跡 | 大字中霧島字宮前 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| N09 | 焼牧遺跡 | 大字中霧島字焼牧 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| N10 | 山之迫遺跡 | 大字中霧島字山之迫 | 縄文 | 散布地 | 20－67 | 旧遺跡名<br>榎田遺跡 |
| N11 | 西谷遺跡 | 大字中霧島字西谷 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| N12 | 下大迫遺跡 | 大字中霧島字下大迫 | 弥生・近世 | 散布地 | | |
| N13 | 助谷遺跡 | 大字中霧島字助谷 | 弥生 | 散布地 | | |
| N14 | 論田第1遺跡 | 大字中霧島字論田 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| N15 | 論田第2遺跡 | 大字中霧島字論田 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| N16 | 論田第3遺跡 | 大字中霧島字論田 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| N17 | 論田第4遺跡 | 大字中霧島字論田 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| N18 | 池増第1遺跡 | 大字中霧島字池増 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| N19 | 池増第2遺跡 | 大字中霧島字池増 | 旧石器<br>縄文 | 散布地 | | |
| N20 | 榎木田遺跡 | 大字中霧島字榎木田 | 縄文 | 散布地 | 20－ 9 | 旧遺跡名<br>論田遺跡 |

中霧島地区（N21～　）

| 遺跡番号 | 遺　跡　名　称 | 所　　在　　地 | 時代 | 種別 | 旧番号(地図) | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| N21 | 仮屋之上遺跡 | 大字中霧島字仮屋之上 | 弥生 | 散布地 | | |
| N22 | 北田遺跡 | 大字中霧島字北田 | 弥生・中世 | 散布地 | | |
| N23 | 重原遺跡 | 大字中霧島字重原 | 弥生 | 散布地 | | |
| N24 | 虎崩遺跡 | 大字中霧島字虎崩 | 縄文 | 散布地 | | |
| N25 | 岡下遺跡 | 大字中霧島字岡下 | 弥生 | 散布地 | | |
| N26 | 薩摩迫遺跡 | 大字中霧島字西脇 | 中世 | 散布地 | 20－ 8 | |
| N27 | 西脇遺跡 | 大字中霧島字西脇 | 弥生 | 散布地 | | |
| N28 | 七代遺跡 | 大字中霧島字七代 | 縄文 | 散布地 | | |
| N29 | 丸尾遺跡 | 大字中霧島字丸尾 | 弥生・近世 | 散布地 | | |
| N30 | 島廻遺跡 | 大字中霧島字島廻 | 弥生 | 散布地 | | |
| N31 | 鎌府田遺跡 | 大字中霧島字鎌府田 | 縄文 | 散布地 | | |
| N32 | 上大迫第１遺跡 | 大字中霧島字鎌府田 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| N33 | 上大迫第２遺跡 | 大字中霧島字鎌府田 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

# 埋蔵文化財

山田地区（Y01～　）

| 遺跡番号 | 遺跡名称 | 所在地 | 時代 | 種別 | 旧番号(地図) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Y01 | 前田第1遺跡 | 大字山田字前田 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y02 | 前田第2遺跡 | 大字山田字前田 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y03 | 二重原遺跡 | 大字山田字二重原 | 縄文 | 散布地 | | |
| Y04 | 裸山第1遺跡 | 大字山田字裸山 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y05 | 裸山第2遺跡 | 大字山田字裸山 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y06 | 裸山第3遺跡 | 大字山田字裸山 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| Y07 | 柿木原第1遺跡 | 大字山田字柿木原 | 縄文 | 散布地 | | |
| Y08 | 柿木原第2遺跡 | 大字山田字柿木原 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| Y09 | 柿木原第3遺跡 | 大字山田字柿木原 | 縄文 | 散布地 | | |
| Y10 | 山田城跡 | 大字山田字脇之馬場 | 中世 | 散布地 | 20－ 3 | |
| Y11 | 二重原第1遺跡 | 大字山田字二重原 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y12 | 二重原第2遺跡 | 大字山田字二重原 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y13 | 合戦場第1遺跡 | 大字山田字合戦場 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| Y14 | 合戦場第2遺跡 | 大字山田字合戦場 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y15 | 合戦場第3遺跡 | 大字山田字合戦場 | 弥生 | 散布地 | 20－ 5 | 旧遺跡名<br>合戦場遺跡 |
| Y16 | 浜之段遺跡 | 大字山田字浜之段 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y17 | 宮田遺跡 | 大字山田字宮田 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y18 | 宮ノ尾遺跡 | 大字山田字宮ノ尾 | 弥生 | 散布地 | 20－ 2 | 旧遺跡名<br>浜之段遺跡 |
| Y19 | 坂ノ上第1遺跡 | 大字山田字坂ノ上 | 縄文・弥生 | 散布地 | | |
| Y20 | 坂ノ上第2遺跡 | 大字山田字坂ノ上 | 弥生 | 散布地 | | |

山田地区（Y21～　）

| 遺跡番号 | 遺　跡　名　称 | 所　在　地 | 時代 | 種別 | 旧番号(地図) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Y 21 | 外ノ口遺跡 | 大字山田字外ノ口 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y 22 | 坂ノ上第１遺跡 | 大字山田字坂ノ上 | 縄文･弥生 | 散布地 | | |
| Y 23 | 坂ノ上第２遺跡 | 大字山田字坂ノ上 | 縄文･弥生 | 散布地 | | |
| Y 24 | 坂ノ上第３遺跡 | 大字山田字坂ノ上 | 縄文･弥生 | 散布地 | | |
| Y 25 | 谷ノ口遺跡 | 大字山田字谷ノ口 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y 26 | 鏡掛遺跡 | 大字山田字鏡掛 | 弥生 | 散布地 | 20－ 7 | 旧遺跡名<br>長谷遺跡 |
| Y 27 | 狐束遺跡 | 大字山田字狐束 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y 28 | 中牟田遺跡 | 大字山田字中牟田 | 縄文･弥生<br>近世 | 散布地 | | |
| Y 29 | 栄歳松第１遺跡 | 大字山田字栄歳松 | 縄文 | 散布地 | 20－ 3 | 旧遺跡名<br>柿木原遺跡 |
| Y 30 | 栄歳松第２遺跡 | 大字山田字栄歳松 | 縄文･弥生 | 散布地 | 20－ 4 | 旧遺跡名<br>西栫遺跡 |
| Y 31 | 曲田遺跡 | 大字山田字曲田 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y 32 | 木手ケ山遺跡 | 大字山田字木手ケ山 | 縄文 | 散布地 | | |
| Y 33 | 中村遺跡 | 大字山田字下川窪 | 縄文 | 散布地 | | 文献１ |
| Y 34 | 町田第１遺跡 | 大字山田字町田 | 弥生 | 散布地 | 20－ 1 | 旧遺跡名<br>瀬之口遺跡 |
| Y 35 | 町田第２遺跡 | 大字山田字町田 | 縄文･弥生 | 散布地 | | |
| Y 36 | 平山遺跡 | 大字山田字平山 | 縄文 | 散布地 | | |
| Y 37 | 下椎屋第１遺跡 | 大字山田字下椎屋 | 縄文･弥生 | 散布地 | | |
| Y 38 | 下椎屋第２遺跡 | 大字山田字下椎屋 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y 39 | 大堀原第１遺跡 | 大字山田字大堀原 | 縄文･弥生<br>近世 | 散布地 | | |
| Y 40 | 大堀原第２遺跡 | 大字山田字坂ノ上 | 縄文･弥生 | 散布地 | | |

山田地区（Y41～　）

| 遺跡番号 | 遺跡名称 | 所在地 | 時代 | 種別 | 旧番号(地図) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Y 41 | 大堀原第３遺跡 | 大字山田字坂ノ上 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y 42 | 坂ノ上第１遺跡 | 大字山田字坂ノ上 | 縄文･弥生 | 散布地 | | |
| Y 43 | 高倉遺跡 | 大字山田字高倉 | 縄文･弥生 | 散布地 | | |
| Y 44 | 二反田遺跡 | 大字山田字二反田 | 縄文 | 散布地 | | |
| Y 45 | 下長谷遺跡 | 大字山田字下長谷 | 弥生 | 散布地 | 20－ 7 | 旧遺跡名<br>茅原遺跡 |
| Y 46 | 牛谷ノ前原遺跡 | 大字山田字牛谷ノ前原 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y 47 | 牛谷ノ下遺跡 | 大字山田字牛谷ノ下 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y 48 | 諏訪原第１遺跡 | 大字山田字諏訪原 | 縄文･弥生<br>平安 | 散布地 | | |
| Y 49 | 諏訪原第２遺跡 | 大字山田字諏訪原 | 縄文･弥生 | 散布地 | | |
| Y 50 | 長尾下第１遺跡 | 大字山田字長尾下 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y 51 | 長尾下第２遺跡 | 大字山田字長尾下 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y 52 | 西原遺跡 | 大字山田字西原 | 縄文･弥生 | 散布地 | | |
| Y 53 | 吉牟田第１遺跡 | 大字山田字吉牟田 | 縄文 | 散布地 | | |
| Y 54 | 吉牟田第２遺跡 | 大字山田字吉牟田 | 弥生 | 散布地 | | |
| Y 55 | 四方面遺跡 | 大字山田字四方面 | 縄文･弥生 | 散布地 | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

# Ⅱ. 試掘調査概要報告

薩　摩　迫　遺　跡
長尾下第１遺跡

# 薩摩迫遺跡

## １．遺跡の位置

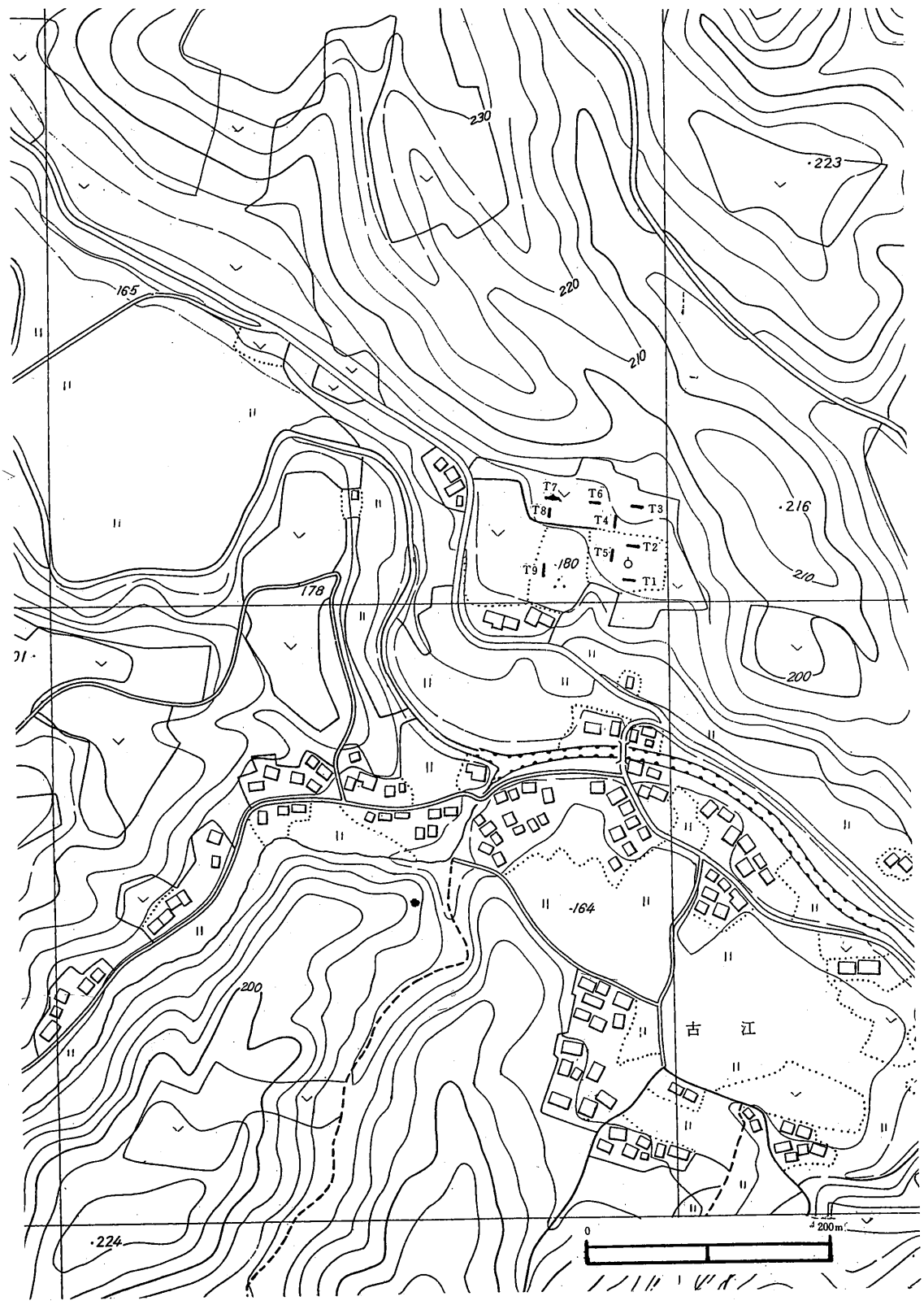
山田町の南東部、役場より約2.4に古江地区が位置し、その中央を丸谷川の支流である渡司川が東から西へ流れている。丸谷川と渡司川に挟まれた舌状台地の端部には多くの遺跡が分布しているが、本遺跡も台地の端部が渡司川に張り出すような形状の河岸段丘上に位置している。

## ２．調査の概要

本遺跡は、島津氏４代忠宗の６男資忠が、筑前国金隈合戦の功により、足利尊氏より島津荘３００町を与えられ、正平７年（１，３５２）当地に入って北郷氏を称し、居館を構えた場所とされており、周辺部では以前から中世陶磁器片が採集されていた。

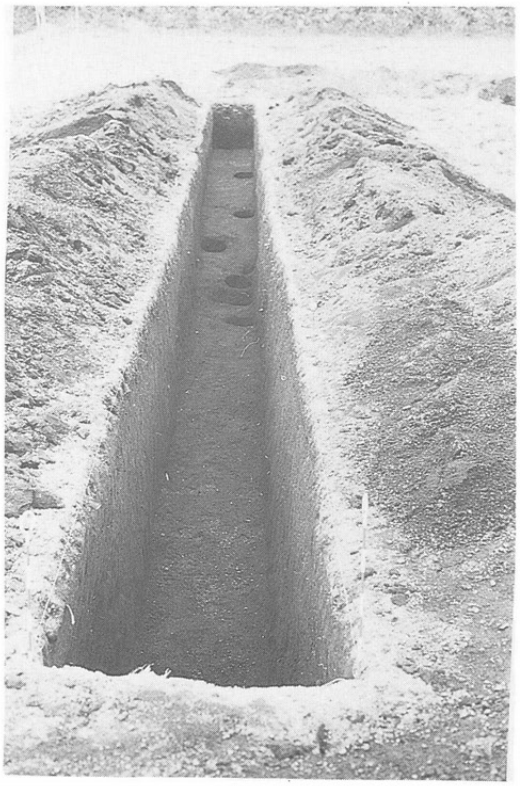
調査は、平成５年３月１５日から２２日までの間、９か所のトレンチ（１×５ｍ）を設定して実施した。 遺跡の基本層序は、第Ⅰ層が表土（約30cm）、第Ⅱ層が黒褐色土（20cm）、第Ⅲ層がボラ混黒色土（30cm）、第Ⅳ層が御池ボラ層（推定約３ｍ）となっている。本遺跡では御池ボラ層上面までを試掘調査の対象とした。本町では御池ボラ層上面においては、２～４０cmの遺物包含層である黒色土中に縄文後期以降の遺物が混在して検出される例が多く、層序別に時期的な判別は困難な状況にある。また、遺構の検出面は御池ボラ層上面で検出している。調査は、現況が栗林となっている下段と畑になっている上段の２か所に約１ｍの段差をもって分かれているので、上段５か所と下段４か所の計９本のトレンチとした。

調査の結果、中世の溝状遺構及び方形土壙、柱穴状遺構が検出され、輸入磁器（青磁・白磁）国内陶器（東播系すり鉢）が遺構に伴って出土した。その他、弥生土器も第Ⅲ層下部で出土した。

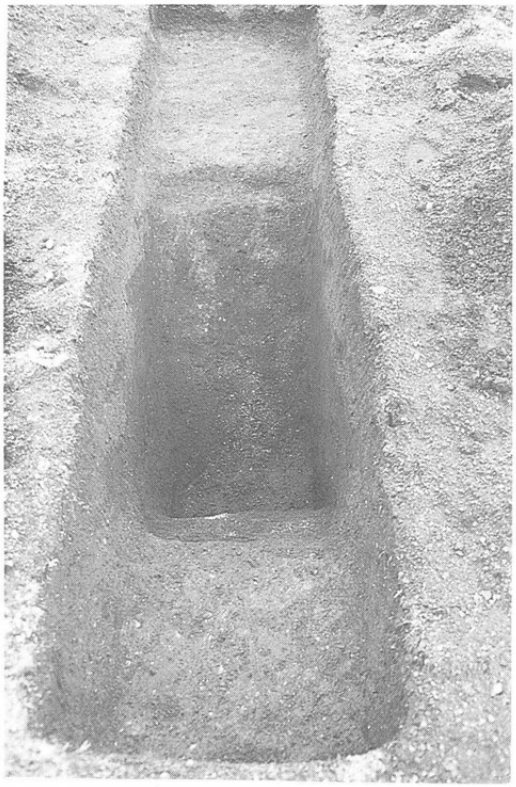

230
223
220
165
210
T7
T6
T8
T3
T4
216
T5
T2
T9
180
T1
210
178
200
164
古 江
200
224
0
200m

第４トレンチ

第８トレンチと柱穴状遺構



第２トレンチと溝状遺構



# 長尾下第１遺跡

１．遺跡の位置

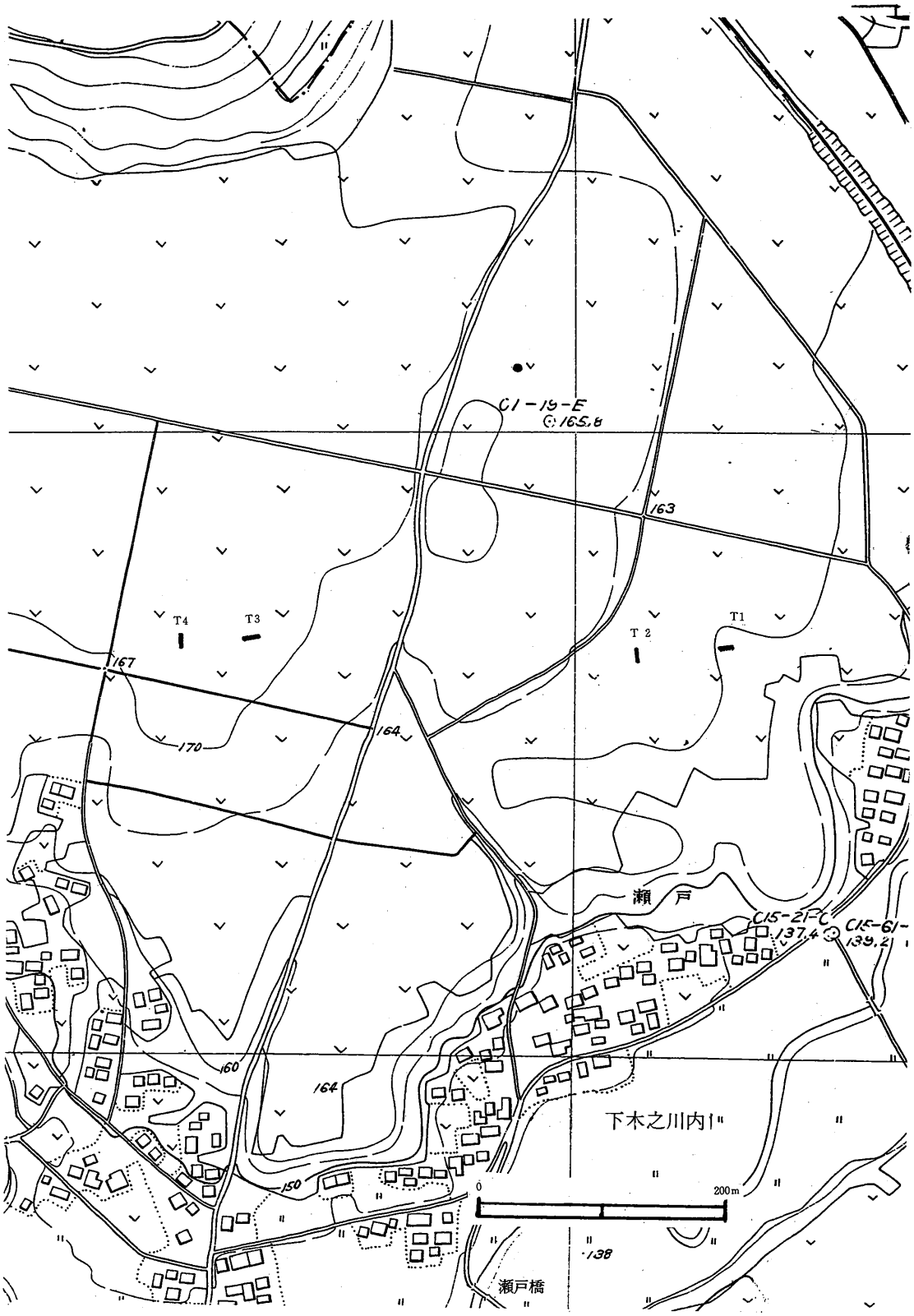
本遺跡は、山田町役場の北東部、役場より約3.2kmに位置し、本町の北部から走る舌状台地の端部にあたる。大淀川の支流である木之川内川に沿って河岸段丘上に多くの遺跡の分布が見られるが、本遺跡もその一つである。

２　調査の概要

調査は、平成７年１月１７日から２０日までの間、４か所のトレンチを設定して実施した。遺跡の基本層序は、第１層が表土（約40cm）、第Ⅱ層が黒褐色土（30cm）第Ⅲ層がボラ混黒色土（約20cm）、第Ⅳ層が御池ボラ層（推定３～3.5m）となっている。

トレンチの設定位置は、畑地の東部と西部にそれぞれ２本（２ｍ×５ｍ）であった。全トレンチともに表土下のⅡ・Ⅲ層の良好な堆積が見られるが、２か所ではトレンチャーによる攪乱が見られた。第Ⅳ層の御池ボラ層は、厚い層の堆積が推定された（約３～3.5m）ので、試掘調査は第Ⅲ層までとし、第Ⅲ層の上面を遺構検出面とした。

調査の結果、弥生後期の 土器の出土があり、第１トレンチでは集中して出土した部分もあったが、遺構は検出されなかった。出土層位は、第Ⅱ層下部から第Ⅲ層であった。


C1-19-E
165.8
163
T4
T3
T2
T1
167
170
164
瀬戸
C15-21-C
137.4
C15-61-
139.2
160
164
150
下木之川内
0
200m
138
瀬戸橋

長尾下第１遺跡
遠 景（北から）

試掘調査作業中

第１トレンチ層序
及び弥生土器
出土状況

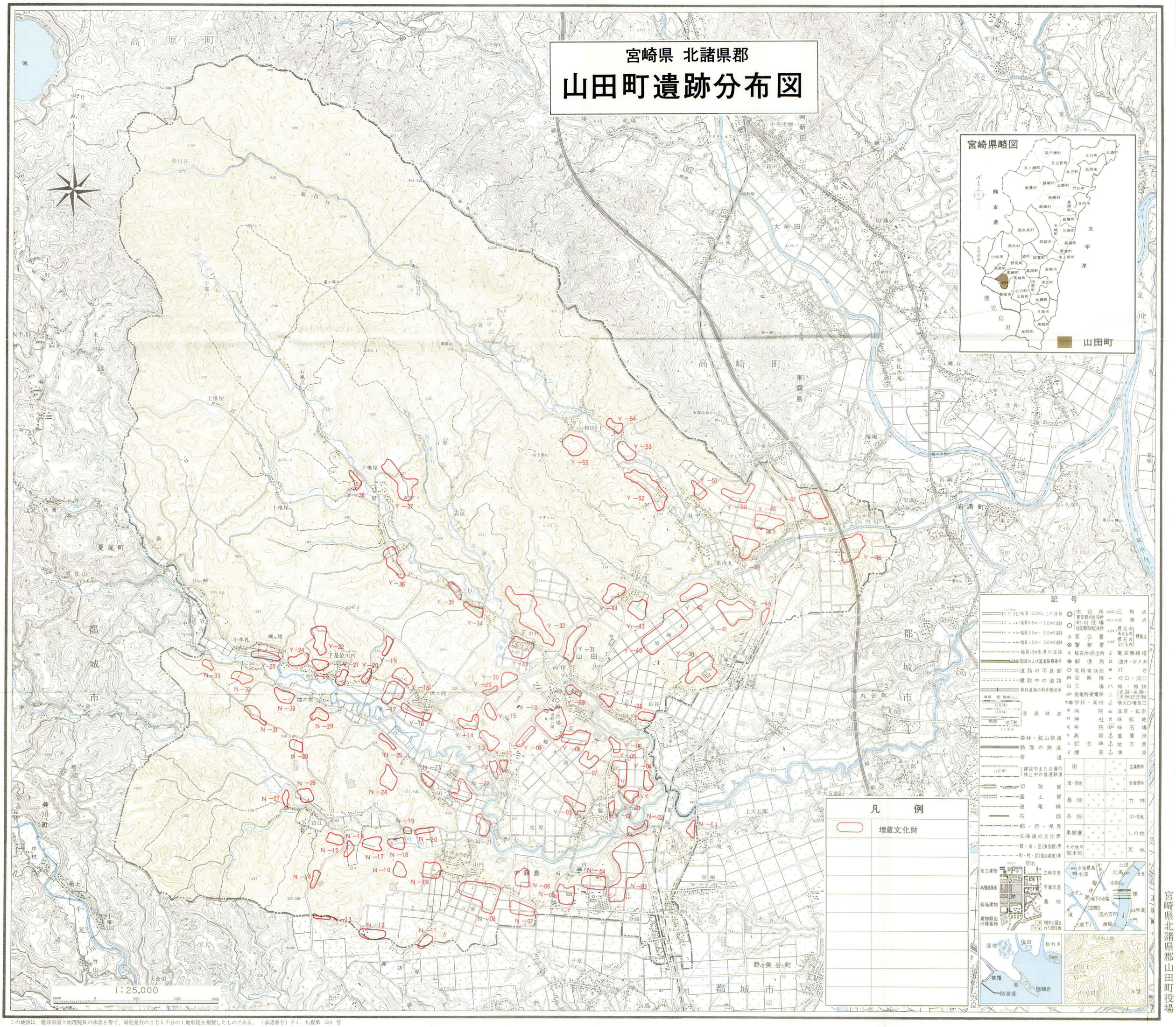
長尾下第１遺跡

# Ⅲ．埋蔵文化財発掘調査関係報告書一覧

1　「中村遺跡」『山田町文化財報告書第１集』山田町教育委員会
昭和５８年（１９８３）

宮崎県 北諸県郡

# 山田町遺跡分布図




この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の２万５千分の１地形図を複製したものである。（承認番号）平４．九複第 339 号